

回文

2022/10/26

こじままじこ (小島裕子)

先日の新聞に「漢字二文字の言葉で前後を入れ替えても通じるものは？」という記事がありました。「先祖と祖先」、「光栄と栄光」、「父親と親父」、「相手と手相」、「凶星と星凶」等々。これらを『さかさ言葉』と呼ぶそうです。これを探すのも面白そうです。最近、さかさ言葉をあれこれ見つけています。

今回の回文のお題は「秋の風物詩より」。

ポストシリーズは「世界のポスト⑭・オランダ編」です。

「秋の風物詩より」



まつたけさけたつま (松茸、避けた妻)

まつたけまねだんだねまけたつま (松茸、ま、値段だね、負けた妻)

このきのこはこのきのこ (この茸はこの木の子?)

こうようよまさにえのぐのえにさまようようこ

(紅葉よ、まさに絵の具の絵に彷徨う洋子)

さけおどされさどおけさ (鮭、脅され佐渡おけさ)

さんまちいさいがいがいさいちまんさ (秋刀魚、小さいが、以外さ、一万さ)

なすですないまうまいなすですな (ナスですな、いま美味しいナスですな)

「世界のポスト⑭・オランダ編」



オランダ (ハーグ)
かしまし娘ポスト。道行く人を品定めしていそう。

オランダのポストは真っ赤(色が濃い)。



オランダ (ザーンセスカンス (風車村))
オランダの縦型ポストはやけに堂々とした雰囲気。



オランダ (キューケンホフ公園内)



オランダ (キューケンホフ公園)
左上の縦型の三角頭は赤でこちらは白。